



第2学年 「時くと時間」 渡部 翔平 教諭
2時間構成だった単元を、教材研究会での助言や協議を受けて、3年生の学習も取り入れた4時間構成とした。本単元を通して数学的な資質・能力を育成するために、時間を求める際には時間の単位に着目して求めるといった数学的な見方・考え方を働かせた活動を取り入れ、習得させたい知識の確実な定着を図りたい。

『2問目で3年生の学習内容を取り扱うことで、本時の数学的な見方・考え方をより働かせることができているか』という視点で協議を行いました。ここでは、1問目の答えである7時間をどうおさえておくかが2問目の問いにつながるのではないかという意見が出されました。



代案を通じた授業の振り返りを通して

時刻を提示して時間を求めるという活動（午前8時から午後3時までの間は何時間？）と、時間を提示して時刻を考えさせるという活動（午前10時半から4時間後の時刻は？）の2つのサイクルで問題解決を組織する代案を齊藤先生から示していただきました。アプローチの仕方を逆にすることで、練習問題をやらなくても2つ目の学習が評価問題となり、子供が本当に分かっているかどうかを評価することにもつながる。また、『時刻と時間』の学習を通して、算数の学びの価値を実感させてあげるとともに、能率的な処理のよさも感じさせてあげることが大切であるということ等を教えていただきました。

齊藤一弥
学力向上総括
専門官による
指導板書



授業者の声

自分の実践を基に代案を通じた授業リフレクションをしていただき、自分がしたかったことをする為には何が大事だったのかを学ぶことができました。今回の学びをさらなる学びにつなげて自己を磨きたいと思った。

参会者の声

チームとして取り組んでこれたことが実を結ぶ日が必ず近いうちにくるだろうなと感じられる学校全体の雰囲気でした。今後の授業に役立てたいと思うことがたくさんありました。

【須崎小 田村美香講師】

次回は **8月23日(木)**
14時から教材研究会を行います。寺倉凌治教諭が、「見やすく整理して表そう」(3年生)の授業を行う予定です。ぜひご参加ください。

